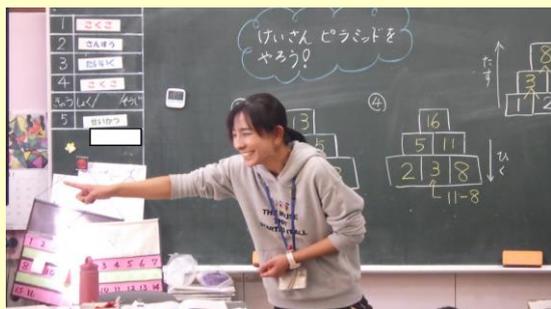


県内学級担任紹介

日々、児童生徒のより良い成長を願い、魅力溢れる授業実践や学級経営を行っている先生方を紹介します。その先生が日々の授業や学級経営を行う上での根幹となっている考え方、またより良い実践のためにどのような工夫をしているのか、その秘訣も紹介します！

学校名：鎌ヶ谷市立中部小学校



担任名：高津戸 泰子
教員経験：19年

(令和5年5月1日現在)

学級経営で取り組んでいることや「やりがい」
どの子ども居心地の良い学級にするために、教師が率先して頑張りを褒め、認め、一緒に楽しむようにしています。

授業で心掛けていること
授業が終わった時の子供たちの姿を思い浮かべながら準備をします。目の前の子供たちにあった教材や発問を考えるようにしています。

私の好きな「こ・と・ば」
「学びに終わりなし」
経験年数を重ねても、学びの姿勢を忘れずにいたいです。

タイトル【 けいさんピラミッドを
つくろう 】

算数の授業です。1年生の算数の計算のまとめとして、たし算やひき算を使って、ピラミッドを作っていました。

1年生は、どのような活動も初めてです。初めてのことに触れあうときのドキドキワクワクがいつも伝わってきます。その気持ちを大切にしながら、わかった喜びを感じられるように心掛けています。そのために、発問を考えたり、反応をオーバーにしたり、私自身もその1時間をめいっぱい楽しんでいます。「できないことができるようになった!」「今日の授業、楽しかったよ!」そのような子供たちの言葉が私の原動力です。

教室に掲示した
ふわふわことばボックス



4月に何もなかった教室が、3月には子供たちの文字や絵、思い出でいっぱいになることを目標にしています。

この件についてのお問い合わせ
企画管理部 教育政策課
電話043-223-4015